

しまねの河川と海岸だより

平成 27 年 6 月号

発行：島根県土木部河川課

〔6月号目次〕

【平成 27 年度 河川功労者表彰が決定】	河川課
【平成 27 年度 第 1 回河川整備計画検討委員会を開催】	河川課
【松江堀川には生き物がたくさんいます】	河川課

平成 27 年度 河川功労者表彰が決定！！ ～5 月 25 日表彰が行われました～

河川課管理グループ

表 彰 式

日時： 平成 27 年 5 月 25 日（月） 17：10～
場所： 砂防会館別館 シェーンバッハ・サボー（東京都千代田区平川町 2-7-5）
その他： 全国で、89 の個人・団体（個人：46、団体：43）が表彰

河川功労者表彰とは・・・

河川愛護活動等に関し功績があった個人・団体に対して、その功績を 称えるため、毎年度、公益社団法人日本河川協会が表彰を行っています。

受賞者名・功績

みどり会グループ（奥出雲町）

- 平成 17 年設立以来、町内を流れる斐伊川上流にある鳥上小学校の自然環境学習の場を整備するため、周辺河川敷の除草・清掃・整地等幅広く活動し、河川環境整備・愛護活動に尽力されました。
- 活動の様子（河川敷の除草）



認定 NPO 法人 自然再生センター（松江市）

- 平成 18 年設立以来、中海自然再生協議会事業の事務局及び自然再生事業の実施主体として、「アマモ場の保全・再生事業」、「海藻類の回収及びその利用事業」、「浜辺の保全・再生事業」のほか、積極的にイベントを開催するなど、水環境の健全化に尽力されました。
- 活動の様子（左・中写真：矢田の渡し勉強会、 右写真：オゴノリ採り）

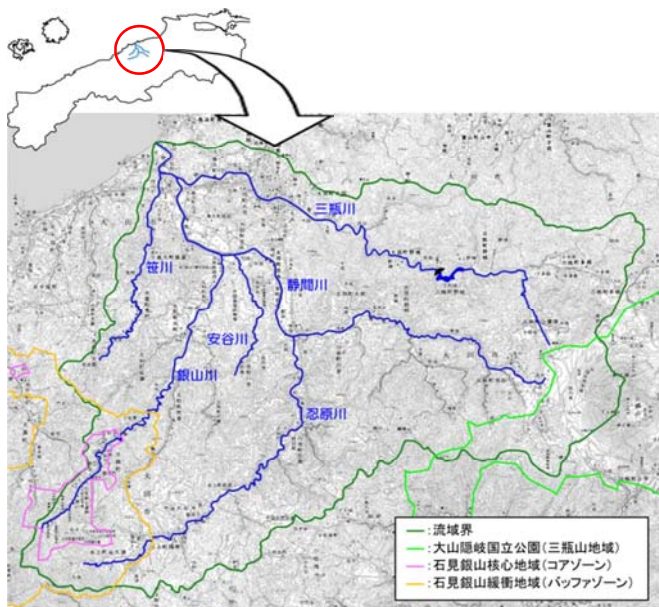


※当該表彰については、公益社団法人日本河川協会が国土交通省の一般紙・専門紙の記者クラブで記者発表をしています。

H27 年度 第 1 回河川整備計画検討委員会を開催

～静間川水系河川整備基本方針に盛り込む事項の検討内容に係る審議を実施～

河川課企画調査グループ



上写真：委員会の様子

左 図：静間川水系 流域図

1. 第 1 回委員会開催状況

前回の委員会（平成 27 年 3 月 9 日）では、流域の現地視察を行い、過去の災害や治水対策、環境調査内容等について意見をいただきました。今回の委員会（平成 27 年 6 月 1 日）では、以下（1）の 2 点について委員会へ報告した後、静間川基本方針に盛り込む以下（2）の議事について審議していただきました。

（1）委員会への報告事項

- ・斐伊川水系中流支川域河川整備計画について
- ・松江堀川の水環境について（次回の「だより」で詳細を掲載します）

（2）委員会の議事

- ・冬季環境調査（鳥類、底生動物）の報告
- ・高水計画（計画規模※や河川の計画流量等）
※計画規模：例えば 100 年に 1 回程度の確率で発生する降雨への対応を目標とする場合、「計画規模 1/100」と表現します。
- ・洪水処理計画、河道計画（河道の改修方法、その際の留意事項等）
- ・正常流量（動植物の保護、景観等の観点から渇水時にも確保すべき流量に関する検証等）
- ・素案イメージ（基本方針本文のイメージ）
- ・策定に向けた今後のスケジュール

2. 今後の予定

議事で挙げた内容の検討を引き続き進めながら、適宜、委員会を開催して内容の審議をしていただき、平成 27 年度中の国の同意、策定を目指します。

★委員会の資料、議事要旨等は島根県河川課ホームページの以下のアドレスをご覧ください。

※静間川基本方針に係る前回委員会の内容もこのアドレスで見ることができます。

http://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/kasen/hoshin/seibikeikaku_kentouiinkai.html

松江堀川には生き物がたくさんいます

～ただいま松江堀川水環境協議会設立準備中～

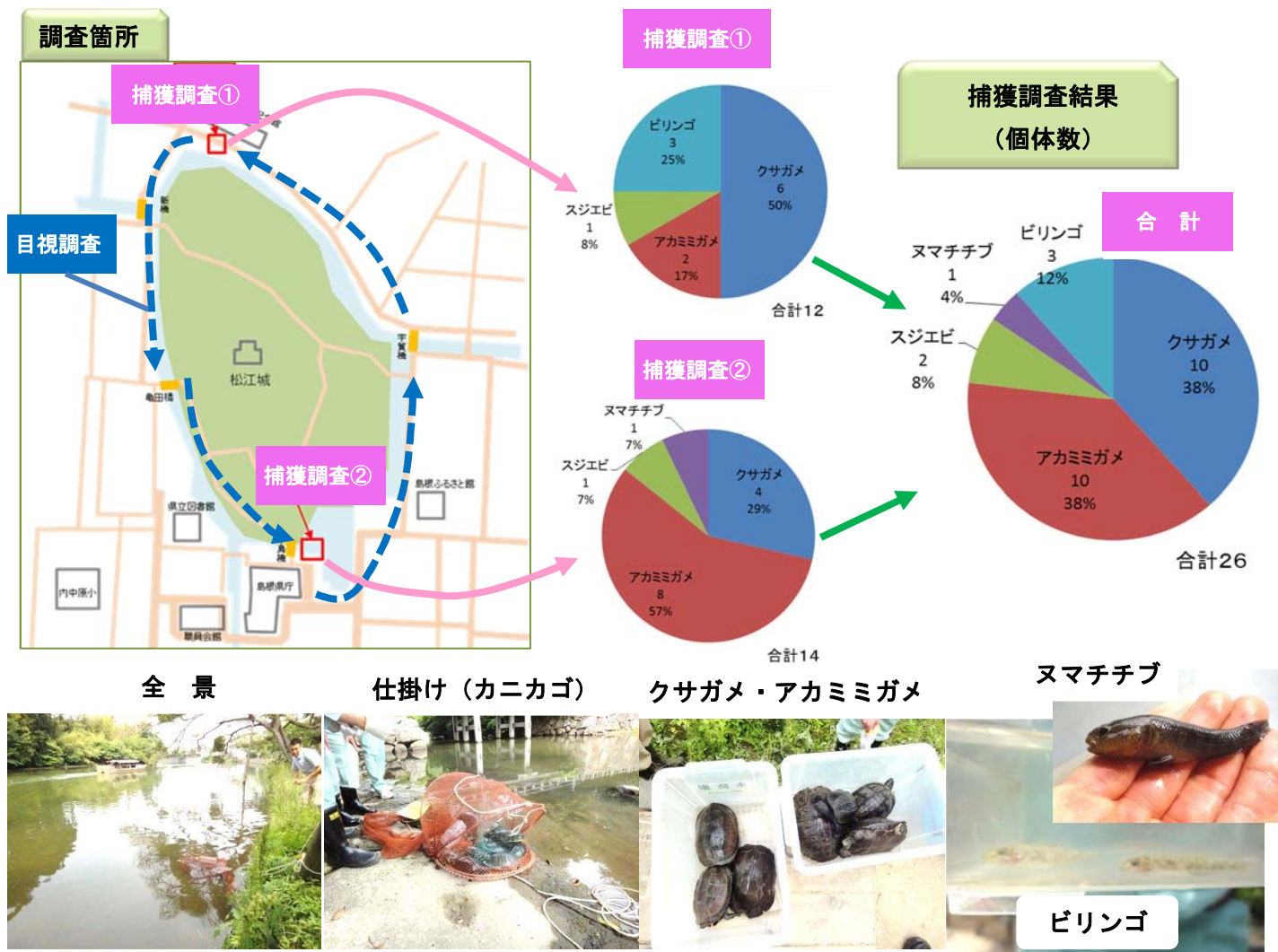
松江堀川について

河川課企画調査グループ

堀川遊覧船の運航により県都松江市を代表する観光スポットとなり、松江堀川の水環境は観光客や市民に親しまれ、水辺を身近に感じていただいています。

また、宍道湖同様の汽水であることから、多様な汽水の生物が生息できる水環境を有しています。

松江堀川の生き物調査を、平成 27 年 4 月 17 日（目視調査）と 5 月 28 日（捕獲調査）実施しました。調査結果は以下のとおりです。



調査結果まとめ

- ① 目視調査では、アカミミガメ、コイ、フナ、ボラ、オオクチバス、アメンボ、メダカ、カモを発見
- ② 聞き取り調査ではヤマトシジミ、数年前はスッポンを確認
- ③ 捕獲調査（2カ所）は、合計 26 匹採取
（クサガメ、アカミミガメ、スジエビ、ビリンゴ、ヌマチチブ 等）
- ④ 仕掛けがカニカゴだったため、カメが多く獲れた（次回 8 月は、魚の投網を準備中）
- ④ カメの種類について、クサガメ（在来種）とアカミミガメ（外来種）の割合は半々

知ってる？川のこと ～水のきれいさの指標③「指標生物」～

川には、ヤマメなどの魚類、カゲロウなどの昆虫類や貝類など、様々な生き物が住んでいます。その中には、きれいな水にしか住めないもの、ある程度汚れていても生きていけるものなどがあり、そうした生き物の生息状況から川の水質を推定することができます。

その判断に使う生き物を「指標生物」と言います。

● 環境省「全国水生生物調査」における 水質の分類と指標生物

水質階級	指標生物
I きれいな水	アミカ類、ナミウズムシ等10種
II ややきれいな水	イシマキガイ、オオシマトビケラ等8種
III きたない水	イソコツブムシ類、タニシ類等6種
IV とてもきたない水	アメリカザリガニ、エラミズ等5種

※出典：環境省HP「全国水生生物調査」



環境省では、「全国水生生物調査」として、指標生物から川の水のきれいさを調べるためのテキストなどを作成しており、地元の小学生などがこの調査に参加しています。

【編集後記】河川課 企画調査グループ 藤岡八寸志

今号は、松江堀川の水環境把握のため、生き物調査をしました。松江堀川には、全国でも珍しい汽水環境のお堀があります。昔は汚かったイメージがありますが、これまで宍道湖水を導入する水質浄化事業や下水道整備、また、官民協働で総合的に水質浄化事業に取り組んだ結果、水質が改善されています。今回の調査では汽水環境にすむヌマチチブが見つかったことは驚きでした。

来月には宍道湖自然館ゴビウスまたは宍道湖漁業協同組合の有識者、松江市、島根県で構成される「松江堀川水環境協議会」を設立します。今後、この活動により市民と連携し、官民協働で、松江堀川の汽水環境の保全に努め、観光地松江の魅力アップを図っていきます。

さて、島根県河川課では、今後も河川・海岸に関する話題を提供したいと思います。バックナンバーは河川課ホームページにも掲載していますのでご覧ください。

編集者 島根県土木部河川課企画調査グループ

TEL : 0852-22-5647 FAX : 0852-22-5681

mail : kasen@pref.shimane.lg.jp

河川課 しまねの河川と海岸だより HP : <http://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/kasen/tayori/>